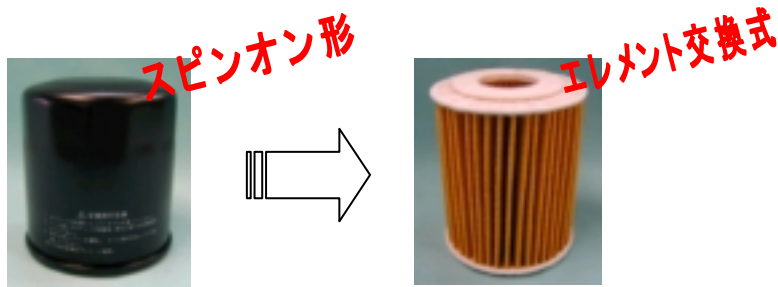


環境対策オイルフィルタについて

- 最近、ガソリン使用乗用車のオイルフィルタは、廃棄処理を容易にする為、従来のスピンオン形から、中身のみを交換する「**エレメント交換式**」が増えています。



る紙の部分だけを交換するので廃棄処理がし易い。(環境負荷の低減！)
今後オイルフィルタの主流になる可能性大！
他自動車メーカーも採用済み。(日産, マツダ, スバル車の一部車種)

オイルフィルタ交換手順の一例



この辺りにオイルフィルタケースが取り付けられています。

交換作業例

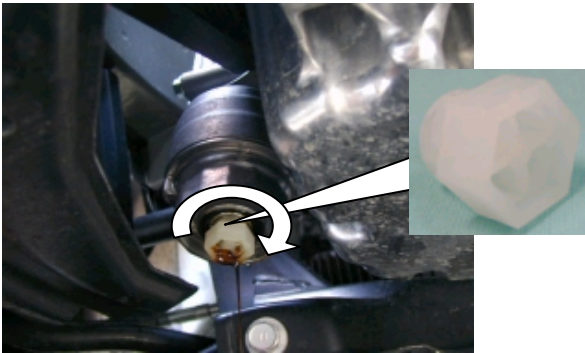
①オイルフィルタケースの位置を確認します。



②キャップ頭部のボルト(オイル抜き用)を外します。
* ガasket(小)も取り外します。



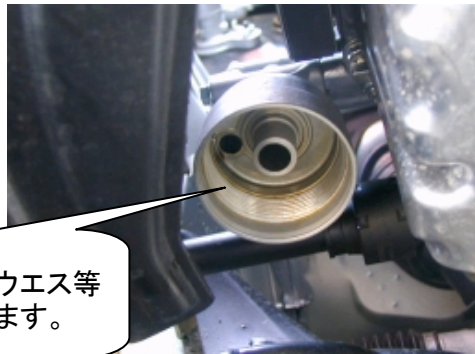
③ボルトを取り外した後、付属のオイル抜き用ドレンプラグ(24mm ネジ式)を取り付けフィルタケース内のオイル抜きを行います。



④フィルタレンチを使用しキャップを外します。



⑤キャップを外した後、ガスケット(大)及びフィルタを取り外します。



POINT
ケース内部をウエス等で清掃を行います。

⑥新しいフィルタ及びガスケット2箇所【ケース部(大)、ボルト部(小)】を装着します。



POINT
ガスケット(大)は、**オイルを必ず塗布し、引っ張らず**に装着して下さい。





注意！！
強く引っ張ってしまくと...



危険！



ガスケットが一時的に伸びた状態になり、はみ出してしまいます。万が一、引っ張ってしまった場合は、復元するのに3分間要します。必ず元通りになったのを確認してから、作業をして下さい。

⑦キャップをオイルフィルタケースに取り付け、オイルを注入後エンジンを始動しオイル漏れの無い事を確認し、完了となります。



POINT
キャップの締付けは、トルクレンチの使用を推奨します。(締付けトルク 20~30Nm)